

2019年度事業報告書

2019年4月1日～2020年3月31日

学校法人 坪内学園

専門学校松江総合ビジネスカレッジ

山陰中央専門大学校

坪内珠算学校

つぼうち英会話スクール

I 法人の概要

1. 建学の精神

- 専門学校松江総合ビジネスカレッジ
- 山陰中央専門大学校

最新の学術を習得し、自立性と公共性が協和した、
社会に対応し確かな時代を創りあげる優秀な人材を育成する。

- 坪内珠算学校

社会のニーズに対応する基礎学力としての計算力を高め
数理能力の向上をはかり、心身共に健全で優秀な人材を育成する。

- つぼうち英会話スクール

21世紀の国際化時代を生き抜く子供達に国際共通語である英語
のコミュニケーション能力と英語的発想を育み、国際人として
活躍できる人材を育成する。

2. 2019年度坪内学園グループの誓い

- ◆ 私たちは「四方善し」の経営を更に推進します

仕事は「子ども保護者にとって善し」
「社会にとって善し」
「学園グループにとって善し」
「教職員にとって善し」 の「報恩感謝の精神」で研鑽に努めます

- ◆ 私たちは「品性」を学園グループの資本と捉え、品性を高める経営と運営を推進します

教職員の一人ひとりが、知性と理性、知力と意志を高めるための道徳的な心遣いや行いを
一心同体となって、日常生活においても品性を高めるために精進することに努めます。

3. 学校法人の沿革

- 1957年 島根県松江市石橋町に珠好会坪内塾、石橋珠算教室を開設(4月)
- 1969年 学校法人坪内学園 設立認可(11月)
- 1978年 学校法人坪内学園立坪内珠算学校を開校(4月)
- 1987年 学校法人坪内学園立松江ビジネス専門学校(現、専門学校松江総合ビジネスカレッジ)を開校(4月)
- 2000年 学校法人坪内学園立アメリカン英会話スクール(現、つぼうち英会話スクール)を開校(11月)
- 2006年 学校法人平成坪内学園 設立認可(2月)
学校法人平成坪内学園立専門学校島根自動車工学専門学校(現、山陰中央専門学校)を開校(4月)
- 2016年 学校法人坪内学園、学校法人平成坪内学園の法人合併で学校法人坪内学園となる(4月)
- 2017年 学校法人坪内学園立つぼうちアメリカン英会話スクールをつぼうち英会話スクールに校名変更(4月)
- 2019年 学校法人坪内学園 坪内ジョブサポート設立認可(4月)

4. 設置する学校と学科 (2020年4月1日現在)

● 専門学校松江総合ビジネスカレッジ

【島根県松江市東朝日町74】

- ・地域経済学科
- ・医療事務学科
- ・公務員学科
- ・動物学科
- ・IT学科
- ・日本語学科

● 山陰中央専門学校

【島根県松江市東朝日町75-12】

- ・自動車総合学科
- ・こども総合学科
- ・介護福祉士学科

● 坪内珠算学校

【島根県松江市北田町277】

● つぼうち英会話スクール

【島根県松江市東朝日町74-2】

5. 学生数の状況 (2019年5月1日時点・委託訓練生を含む)

● 専門学校松江総合ビジネスカレッジ

(単位：名)

| 学 科 | 修業年限 | 学則定員 | 全学生数 | 募集定員 | 入学者数 |
|--------|------|------|------|------|------|
| 地域経済学科 | 2年 | 50 | 27 | 25 | 14 |
| 医療事務学科 | 2年 | 50 | 28 | 25 | 15 |
| 公務員学科 | 2年 | 80 | 68 | 50 | 43 |
| 動物学科 | 2年 | 50 | 39 | 25 | 19 |
| I T学科 | 2年 | 90 | 69 | 45 | 40 |
| 日本語学科 | 2年 | 80 | 28 | 20 | 15 |
| | 1.5年 | | 9 | 20 | * |
| 計 | | 400 | 268 | 210 | 146 |

*10月入学者 16名

● 山陰中央専門大学校

(単位：名)

| 学 科 | 修業年限 | 学則定員 | 全学生数 | 募集定員 | 入学者数 |
|--------------|------|------|------|------|------|
| 自動車総合学科1級コース | 4年 | 90 | 22 | 0 | 0 |
| 自動車総合学科2級コース | 2年 | | 39 | 25 | 22 |
| こども総合学科 | 2年 | 120 | 51 | 60 | 22 |
| 介護福祉士学科 | 2年 | 70 | 15 | 35 | 8 |
| 計 | | 280 | 127 | 120 | 52 |

6. 就職状況：2019年度卒業生 (2020年4月1日現在・委託訓練生を含む)

● 専門学校松江総合ビジネスカレッジ

| | | |
|-----------|------|-----|
| 卒業生数：120名 | 就職者数 | 94名 |
| | 進学者数 | 20名 |
| | その他 | 6名 |

● 山陰中央専門大学校

| | | |
|----------|------|-----|
| 卒業生数：58名 | 就職者数 | 58名 |
| | 進学者数 | 0名 |
| | その他 | 0名 |

7. 役員・評議員の概要 (2020年4月1日現在)

理事 5名 (定数5名)
 監事 2名 (定数2名)
 評議員 11名 (定数11名)

8. 役員名簿 (2020年4月1日現在)

| | 氏名 | 常勤・非常勤の別 | 就任 |
|------|-------|----------|------------------|
| 理事長 | 坪内 浩一 | 常勤 | 平成28年4月1日 理事長就任 |
| 副理事長 | 坪内 美和 | 常勤 | 平成28年4月1日 副理事長就任 |
| 理事 | 三島 進 | 非常勤 | 平成20年5月22日 理事就任 |
| 理事 | 萬代 輝正 | 非常勤 | 平成28年4月1日 理事就任 |
| 理事 | 松浦 俊彦 | 非常勤 | 平成29年4月1日 理事就任 |
| 監事 | 大田 忠司 | 非常勤 | 平成31年4月1日 監事就任 |
| 監事 | 村井 秋秀 | 非常勤 | 令和2年1月10日 監事就任 |

9. 教職員の概要 (2020年4月1日現在)

専門学校教員 (専任) 31名
 専門学校教員 (非常勤) 16名
 付帯事業教員 (講師含む) 15名
 職員 21名

II 事業の概要

| 専門学校松江総合ビジネスカレッジ | |
|--|--|
| 現状報告 | 今後の課題・将来展望 |
| <p>2019年度</p> <p>1. 学生募集について</p> <p>2020年度入学予定者153名 [内日本語学科23名] (3月23日現在)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高校生の減少と高卒就職環境改善等本校を取り巻く情勢が厳しい中、本校PRの為のニュースソース作りや報道依頼に力を入れ、オープンキャンパスへのリピーター誘導、SNSでの発信等に取り組んだ。公務員学科では、高校生対象のセミナー・高校教員対象の公務員試験対策ガイダンスを開催した。また、日本語学科留学生の両校専門課程への進学推進に力を入れた。 <p>2. 学生支援状況について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3月23日現在の就職未内定者は2名である。7月の松江市専門学校協議会の合同企業・法人ガイダンスを皮切りに、1年次早期からの職業意識の育成を行った。スクールカウンセラーを配置(月8時間)し学生の退学防止に活用した。留学生支援センターを設置し留学生の学校生活のサポート体制充実を図った。 <p>3. 学習について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域経済学科では、地元企業経営者の講演や松江市観光協会との連携他実践的授業を実施し、第16回ビジネスプロデュースコンペディション全国大会への出場を果たした。医療事務学科は、医療事務(医科100%、歯科100%、調剤事務100%)、医事コンピュータ技能検定2級92.3%が合格した。公務員学科の試験合格状況は、教養95.8%、最終50.0%(1年生85.3%、31.8%)となった。動物学科では、地域のイベントへの参加や保健所実習等の関連団体等と連携した授業を実施し、また、トリミング全国大会へ出場した。IT学科では、企業の方によるRubyの授業、松江市と連携したIT企業による出前授業を行った。Ruby技術者認定試験Silverに75.0%、情報処理技術者試験25.0%が合格した。日本語学科では、日本語能力検定N2に42.9%、N3に89.3%が合格した。 <p>4. その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・島根県の離職者等再就職訓練(長期高度人材育成コース)(1・2年合計12名利用:地域4、医療2、動物2、IT4)及び専門実践教育訓練給付金制度(動物1名利用)により、社会人入学者を確保している。 | <p>2020年度</p> <p>1. 学生募集について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホームページやSNSを利用した情報発信をより充実させ、オープンキャンパスへの新規・リピーターの参加者増と高校1・2年生参加者獲得対策の強化を行う。入学支援センターと教務部が連携し、高校内や会場でのガイダンスに力を入れる。また、上位資格取得・資格取得率・就職実績等、学校の売りを充実させる。日本語学科への留学生募集の安定に力を入れる。また、日本語学科から両専門学校の専門課程へスライド入学するバック募集を強化する。 <p>2. 学生支援状況について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就職内定目標を12月末に設定し、1年次7月の合同企業・法人ガイダンスからの企業訪問やインターンシップ、就職内定までの流れを定着させる。企業及び各業界に関する情報提供の徹底と学生自身の情報収集支援の充実に努める。また、挨拶や遅刻の防止等の社会性を身につけさせながら職業意識を育てるとともに、キャリア教育の内容を充実させることにより早期離職防止の強化及び社会人としての知識・マナーの定着を図る。 学生との面談実施やスクールカウンセラーとの連携による支援、各種経済的支援制度の適用等によって学生の退学防止に努め、退学者数0を目指す。 留学生学生支援センターによる留学生の学校生活のサポート体制を一層充実させる。 <p>3. 学習について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き実践的な授業及び企業との連携授業の充実により実践力を養う。また、各学科とも上位資格取得及び資格取得率100%の安定した合格サイクルを作る。様々な大会等でPRできるような結果を出す。日本語学科は日本のビジネスの知識及びマナーに関する学習を導入する。また、日本語学科と他学科との交流の場を設け、双方の成長を促す。 <p>4. 将来展望</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業改善の研修や教員の専門分野に関する研究等の教職員研修を充実させ、教職員資質を向上させ教育力をアップさせる。さらに、全教職員が専門外の資格取得にも力を入れる。 |

山陰中央専門大学校

| 現状報告 | 今後の課題・将来展望 |
|--|--|
| <p>2019年度</p> <p>1. 学生募集について 2020年度入学予定者 37名(3月13日現在)</p> <ul style="list-style-type: none"> 少子化による18歳人口の更なる減少、大学や短大への進学希望者の増加などの現状の中で、学生募集に関しては競合校との差別化を重視し、こども総合学科においては2コース制、併修による幼免取得、職業実践専門課程の特色を生かした授業等のPRをした。また、介護福祉士学科でも自動車総合学科に続きベトナム人留学生の受け入れを開始し、4名が入学した。なお、自動車総合学科は2020年度入学の学生募集は行っていない。 <p>2. 学生支援状況について</p> <ul style="list-style-type: none"> 就職内定率はこども総合学科100%、自動車総合学科100%、介護福祉士学科100%である(3月13日現在)。学生指導については、社会人としてのマナー・モラル定着をめざし毎朝のあいさつ運動、学生向けのモラル講習会、租税教室、法律教室等を実施した。さらに面接練習や履歴書の書き方指導等を通してプレゼンテーション能力や文章力の向上も図っている。就職支援では、7月に開催した松江市専門学校協議会の合同企業・法人ガイダンスや会社訪問などを積極的に活用した。 <p>3. 学習について</p> <ul style="list-style-type: none"> 自動車総合学科では地元ディーラーによる新技術講習会やCS(顧客満足度)授業、2、4年生のインターンシップやボランティア活動、1、3年生の企業マーケティングなど産学教育連携授業を展開した。こども総合学科では保育園、幼稚園、福祉施設での実習、2年生から1年生への実習報告会、法人や地域と連携した事業所関連授業等を実施した。介護福祉士学科では介護実習の他、ボランティア活動、音楽・アロマの特別授業を取り入れ、専門性の高い介護福祉士の養成を図っている。 <p>4. その他</p> <ul style="list-style-type: none"> 本年度も島根県立東部高等技術校の長期高度人材育成コース(こども総合学科4名、介護福祉士学科2名)や専門実践教育訓練給付金制度(自動車総合学科1名)の活用によって社会人入学生を受け入れた。 | <p>2020年度</p> <p>1. 学生募集について</p> <ul style="list-style-type: none"> 本校の特色や魅力を伝えるために、本校に入学することによるメリット(立地、施設・設備、教育内容、取得資格、スタッフ、企業や施設との連携、就職状況、授業料等減免制度など)を積極的に発信する。特に教育内容の質的向上に努めていることをアピールし、地元校として若者の定住化など地域に大きく貢献していることもPRする。また、高校との教育連携(出前授業、学校見学会、高校の部活や生徒会との交流、教員同士の交流等)をこれまで以上に進めていくことによって受験生の増加へと繋げていく。さらにテレビCMや校内ガイダンス、会場ガイダンス、学校見学等を通じて本校を知り、オープンキャンパスに参加して本校を志望するという流れができるように、校内外のガイダンスやオープンキャンパスの内容を工夫・充実させる。 <p>2. 学生支援状況について</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校の運営方針にある「育てたい学生像」の具現化のため、「人間力」を高めるための実践を行う。また、職業実践専門課程の特色を活かし、企業や法人等との連携と就職先の新規開拓をさらに進め、学生一人一人の適性にあった就職指導を行う。他方で、教育相談や経済的支援制度の適用を含めた迅速な対応によって中途退学者数を減少させる。それに加えて、年々増加する留学生に対しての修学支援、生活支援と日本国内での就業機会の拡大に努める。 <p>3. 学習について</p> <ul style="list-style-type: none"> アクティブ・ラーニングなど学生の主体的な学びとなる授業を実施して学力の向上を図ると共に授業満足度を高め、国家試験や各種検定、資格取得の100%合格、取得を目指す。また、講習会を実施し、社会人マナー・情報モラルの定着や人権意識の向上も図る。 <p>4. 将来展望</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域貢献という視点から、地域教育の推進、地域のイベントへの参加、諸団体や行政との連携などを積極的に進め、地域の核となり得るような学校作りを目指す。また、国際化に対応するため、両校連携して、とりわけ留学生の教育環境の整備を進める。 |

| 坪内珠算学校 | |
|--|---|
| 現状報告 | 今後の課題・将来展望 |
| <p>1. 生徒募集について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童クラブ、小学校へそろばん出張体験。 ・“日曜日の親子体験教室”実施。 ・幼児コース開設。 <p>2. 学習について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学生の算数学習強化に向け、坪内珠算学校オリジナル算数テキスト作製・使用。 ・タブレットを導入し試験的に運用。 ・生徒の学習意欲向上にむけた学校独自のソロバンコンクール開催。 | <p>1. 生徒募集について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・“日曜日の親子体験教室”は、昨年に比べ参加人数が増加し入学率も高いため引き続き実施予定。 ・“サマースクール”初実施予定。 <p>2. 学習について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ソロバン専用ソフトの導入による本格的指導を開始。 <p>3. 将来展望</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校でのボランティア要望増。算数学習との積極的な連携授業など、世間のニーズに応じた学習スタイルを展開し定着すれば、さらに入学者が増えるものと考えます。 <p>小学校学習の基礎構築時期となる低学年にターゲットを絞って生徒募集及び学習を展開予定。</p> |

| 教育付帯事業部（つぼうち英会話スクール） | |
|---|---|
| 現状報告 | 今後の課題・将来展望 |
| <p>1. 生徒募集について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・SNSを利用した情報発信を実施中。 ・“サマースクール”の実施。 <p>2. 学習について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本英語検定協会「英検」対策として文法学習を積極的に取り入れた。加えて「英検」対策専用ソフトを導入。 ・「スピーチコンテスト（小学生）」開催 会場）県立美術館ホール。 ハロウィンスピーチ発表会（幼児）」開催 会場）山陰中央専門大学校。 ・ホームページ（マイページ）を利用した家庭学習用リスニング動画の定期配信を実施中。 | <p>1. 生徒募集について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・“日曜日の親子体験教室”初実施予定。 ・“サマースクール”の継続実施予定。 <p>2. 学習について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「英検」対策専用ソフトを導入したため。有効的な活用方法を確立させていく。 <p>3. 将来展望</p> <ul style="list-style-type: none"> ・競合他社が多い学習分野であるため、本スクールとしての強みをこれまで以上に確立させ広報していくことが急務。 |

Ⅲ 財務の概要

決算報告

① 資金収支計算書

(2019年 4月 1日 ~ 2020年 3月 31日)

| 収入の部 | | (単位:円) | |
|-------------|---------------|---------------|-------------|
| 科目 | 予算額 | 決算額 | 差異 |
| 学生生徒等納付金収入 | 571,135,874 | 570,723,132 | 412,742 |
| 手数料収入 | 8,914,050 | 9,122,690 | △ 208,640 |
| 寄付金収入 | 200,000 | 200,000 | 0 |
| 補助金収入 | 21,467,135 | 21,685,135 | △ 218,000 |
| 資産売却収入 | 7,508,630 | 7,508,630 | 0 |
| 委託事業収入 | 27,430,026 | 27,134,656 | 295,370 |
| 付随事業・収益事業収入 | 42,161,914 | 41,862,639 | 299,275 |
| 受取利息・配当金収入 | 81,775 | 82,345 | △ 570 |
| 雑収入 | 54,842,984 | 54,431,305 | 411,679 |
| 借入金等収入 | 217,000,000 | 217,000,000 | 0 |
| 前受金収入 | 347,301,363 | 321,514,874 | 25,786,489 |
| その他の収入 | 68,587,213 | 70,670,004 | △ 2,082,791 |
| 資金収入調整勘定 | △ 360,320,255 | △ 362,915,467 | 2,595,212 |
| 前年度繰越支払資金 | 184,668,172 | 184,668,172 | 0 |
| 収入の部合計 | 1,190,978,881 | 1,163,688,115 | 27,290,766 |

| 支出の部 | | (単位:円) | |
|-----------|---------------|---------------|-------------|
| 科目 | 予算額 | 決算額 | 差異 |
| 人件費支出 | 347,534,397 | 344,473,134 | 3,061,263 |
| 教育研究経費支出 | 113,020,014 | 110,960,982 | 2,059,032 |
| 管理経費支出 | 103,493,217 | 101,456,052 | 2,037,165 |
| 借入金等利息支出 | 2,180,000 | 2,128,251 | 51,749 |
| 借入金等返済支出 | 217,000,000 | 217,000,000 | 0 |
| 施設関係支出 | 22,397,794 | 22,397,794 | 0 |
| 設備関係支出 | 27,376,267 | 27,376,267 | 0 |
| 資産運用支出 | 65,174,331 | 65,176,973 | △ 2,642 |
| その他の支出 | 31,480,426 | 38,549,646 | △ 7,069,220 |
| 資金支出調整勘定 | △ 22,371,491 | △ 27,284,742 | 4,913,251 |
| 翌年度繰越支払資金 | 283,693,926 | 261,453,758 | 22,240,168 |
| 支出の部合計 | 1,190,978,881 | 1,163,688,115 | 27,290,766 |

② 事業活動収支計算書

(2019年 4月 1日 ~ 2020年 3月 31日)

(単位:円)

| | | 科目 | 予算額 | 決算額 | 差異 | | |
|-------------------|------------------------------|-----------------|-----------------|------------------------------|-------------------------------|-------------------------------|--------------------|
| 教育活動収入 | 事業活動収入の部 | 学生生徒等納付金 | 571,135,874 | 570,723,132 | 412,742 | | |
| | | 手数料 | 8,914,050 | 9,122,690 | △ 208,640 | | |
| | | 寄付金 | 4,281,320 | 4,281,320 | 0 | | |
| | | 経常費等補助金 | 21,467,135 | 21,685,135 | △ 218,000 | | |
| | | 委託事業収入 | 27,430,026 | 27,134,656 | 295,370 | | |
| | | 付随事業収入 | 42,161,914 | 41,862,639 | 299,275 | | |
| | | 雑収入 | 54,842,984 | 54,431,305 | 411,679 | | |
| | | 教育活動収入計 | 730,233,303 | 729,240,877 | 992,426 | | |
| | | 教育活動支出 | 事業活動支出の部 | 人件費 | 347,623,897 | 344,562,404 | 3,061,493 |
| | | | | 教育研究経費 (内、減価償却額) | 174,813,190 (61,793,176) | 172,754,158 (61,793,176) | 2,059,032 (0) |
| 管理経費 (内、減価償却額) | 109,122,381 (5,629,164) | | | 107,085,216 (5,629,164) | 2,037,165 (0) | | |
| 徴収不能額等 | 0 | | | 0 | 0 | | |
| 教育活動支出計 | 631,559,468 | | | 624,401,778 | 7,157,690 | | |
| 教育活動収支差額 | 98,673,835 | | | 104,839,099 | △ 6,165,264 | | |
| 教育活動外収支 | 事業活動収入の部 | | | 受取利息・配当金 | 80,072 | 80,259 | △ 187 |
| | | 教育活動外収入計 | 80,072 | 80,259 | △ 187 | | |
| | 事業活動支出の部 | 借入金等利息 | 2,180,000 | 2,128,251 | 51,749 | | |
| | | 教育活動外支出計 | 2,180,000 | 2,128,251 | 51,749 | | |
| | 教育活動外収支差額 | △ 2,099,928 | △ 2,047,992 | △ 51,936 | | | |
| 経常収支差額 | | 96,573,907 | 102,791,107 | △ 6,217,200 | | | |
| 特別収支 | 事業活動収入の部 | 資産売却差額 | 1,176,322 | 1,176,322 | 0 | | |
| | | 特別収入計 | 1,176,322 | 1,176,322 | 0 | | |
| | 事業活動支出の部 | 資産処分差額 | 11,911,836 | 11,911,836 | 0 | | |
| | | 特別支出計 | 11,911,836 | 11,911,836 | 0 | | |
| | 特別収支差額 | △ 10,735,514 | △ 10,735,514 | 0 | | | |
| 基本金組入前当年度収支差額 | | 85,838,393 | 92,055,593 | △ 6,217,200 | | | |
| 基本金組入額合計 | | △ 95,452,586 | △ 110,494,512 | 15,041,926 | | | |
| 当年度収支差額 | | △ 9,614,193 | △ 18,438,919 | 8,824,726 | | | |
| 前年度繰越収支差額 | | △ 1,660,414,443 | △ 1,660,414,443 | 0 | | | |
| 基本金取崩額 | | 13,166,958 | 13,166,958 | 0 | | | |
| 翌年度繰越収支差額 | | △ 1,656,861,678 | △ 1,665,686,404 | 8,824,726 | | | |

(参考)

| | | | |
|---------|-------------|-------------|-----------|
| 事業活動収入計 | 731,489,697 | 730,497,458 | 992,239 |
| 事業活動支出計 | 645,651,304 | 638,441,865 | 7,209,439 |

③ 貸借対照表

(2020年 3月31日現在)

学校法人 坪内学園

(単位 千円)

| 資 産 の 部 | | 負 債 及 び 純 資 産 の 部 | |
|----------------|------------------|--------------------------|------------------|
| 科 目 | 金 額 | 科 目 | 金 額 |
| 固定資産 | 3,037,956 | 固定負債 | 96,883 |
| 有形固定資産 | 2,835,478 | 流動負債 | 1,076,770 |
| 特定資産 | 199,365 | 負 債 合 計 | 1,173,653 |
| その他の固定資産 | 3,113 | 基本金 | 3,996,949 |
| 流動資産 | 466,959 | 第1号 基本金 | 3,957,949 |
| | | 第4号 基本金 | 39,000 |
| | | 繰越収支差額 | △ 1,665,686 |
| | | 純 資 産 合 計 | 2,331,262 |
| 資 産 合 計 | 3,504,915 | 負 債 及 び 純 資 産 合 計 | 3,504,915 |

④ 財産目録

2020年3月31日
学校法人坪内学園
単位:円

| 資産の部 | | 取得価格 | 累計償却額 | 期末残高 |
|---------------|-----------|---------------|---------------|-----------------|
| 固定資産 | | | | 3,037,956,451 |
| I. 有形固定資産 | | | | 2,835,478,016 |
| 1 | 土地 | | | 1,293,889,017 |
| 2 | 建物 | 2,431,902,406 | 1,027,503,908 | 1,404,398,498 |
| 3 | 構築物 | 71,474,749 | 57,138,608 | 14,336,141 |
| 4 | 教育研究用機器備品 | 334,478,918 | 271,749,201 | 62,729,717 |
| 5 | 管理用機器備品 | 71,081,436 | 54,902,295 | 16,179,141 |
| 6 | 図書 | | | 7,437,551 |
| 7 | 車両 | 22,553,316 | 9,559,434 | 12,993,882 |
| 8 | 建物付属設備 | 30,941,687 | 7,427,618 | 23,514,069 |
| II. 特定資産 | | | | 199,365,254 |
| III. その他の固定資産 | | | | 3,113,181 |
| 流動資産 | | | | 466,959,319 |
| 資産の部合計 | | | | 3,504,915,770 |
| 負債の部 | | | | |
| I. 固定負債 | | | | 96,883,149 |
| II. 流動負債 | | | | 1,076,770,003 |
| 負債の部合計 | | | | 1,173,653,152 |
| 正味財産の部 | | | | |
| I. 基本金 | | | | 3,996,949,022 |
| 1 | 1号基本金 | | | 3,957,949,022 |
| 2 | 4号基本金 | | | 39,000,000 |
| II. 繰越収支差額 | | | | △ 1,665,686,404 |
| 1 | 翌年度繰越収支差額 | | | △ 1,665,686,404 |
| 正味財産の部合計 | | | | 2,331,262,618 |
| 負債及び正味財産の部合計 | | | | 3,504,915,770 |

⑤ 監 査 報 告 書

2020年 5月 26日

学校法人 坪内学園
理 事 会 御中
評議員会 御中

学校法人 坪内学園

監事 大田 忠司 

監事 村井 秋秀 

私たちは、学校法人坪内学園の監事として、私立学校法第37条第3項に基づいて学校法人坪内学園の2019年度（2019年4月1日から2020年3月31日まで）における財産目録及び計算書類（貸借対照表、資金収支計算書及び事業活動収支計算書）を含め、学校法人の業務、財産及び理事の業務執行の状況に関し監査を行いました。

監査の結果、私たちは、学校法人の業務、財産及び理事の業務執行の状況に関する不正の行為又は法令若しくは寄附行為に違反する重大な事実のないことを認めました。

以上